

働き方改革の推進を踏まえた  
脳卒中急性期医療に関する人的資源  
及びインフラ等の現状調査

令和6年度 厚生労働科学研究 24FA1016

(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

「脳卒中の急性期医療の均てん化を加速するための研究」

研究代表者

国立循環器研究センター

病院長 飯原弘二

令和6年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

「脳卒中の急性期医療の均てん化を加速するための研究」

「働き方改革の推進を踏まえた脳卒中急性期医療に関する人的資源及びインフラ等の現状調査」に関するご協力のお願い

（一社）日本脳卒中学会認定 PSC、研修教育施設

施設代表者 各位

研究代表者

国立循環器病研究センター

病院長 飯原弘二

平素より、厚生労働科学研究等の研究事業ではご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私どもは、令和6年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）の一環として、（一社）日本脳卒中学会と協力し、「脳卒中の急性期医療の均てん化を加速するための研究」を実施しております。本研究班は、脳卒中急性期医療に関する現状把握を行い、令和6年度より施行となった、医師の働き方改革を踏まえた上で、今後本邦が目指すべ

き脳卒中急性期医療提供体制に関する提言を策定することを目的として研究を進めております。

今回の施設調査は、脳卒中患者の救急搬送の応需に中心的な役割を果たしている国内全域の病院について、**脳卒中急性期医療に関する人的資源・インフラ等の現状把握**を行うことを目的としております。本調査は日本脳卒中学会のPTと合同で行う調査であり、日本脳卒中学会認定の一次脳卒中センター(PSC)、及び研修教育施設を対象とさせて頂きました。

調査結果は、国内の脳卒中診療提供体制の均てん化・持続可能性を模索するための重要な資料となりますので、貴施設におかれましても、ぜひ本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、本調査のデータは、今後、別途予定している医師調査と合わせ解析いたしますが、施設や医師個人が特定される形で公表を行うことはありません。今回の調査結果は、本研究班の研究目的に則り、適切に使用させて頂きます。

## **【調査概要】**

**目的:** 脳卒中急性期医療に関する人的資源・インフラ等の現状把握

**対象:** 一次脳卒中センター(PSC) /研修教育施設

**回答期限:** 令和7年3月26日(水)

(令和7年3月1日時点の現状について回答してください)

**回答方法:** 調査票のフォーマットをお送りしますので、下記メールアドレスまでご連絡ください。

調査内容や設問に関するご不明点等についても同様に下記連絡先で対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。年度末の大変ご多忙の中、申し訳ございませんが、ご協力のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

**P w C**コンサルティング合同会社

[jp\\_cons\\_research2024\\_f16@pwc.com](mailto:jp_cons_research2024_f16@pwc.com)

ご多忙のところ恐縮ですが、皆様のご協力が本研究の成功に繋がりますので、何卒よろしくご協力申し上げます。

敬具